

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	幼稚園建設事業	コード	03-01-07-01	担当課	教育総務課管理係
事業実施期間	平成17年11月～平成18年3月		担当者	坪本弘毅	
総合計画 事業(政策)体系	大項目	地域文化と人が輝くまちづくり			
	中項目	未来を支える人材を育むまちづくり			
	小項目	施設整備			
	施策	校舎等の計画的な改修			

事業について	
目的	幼稚園園児の日常の習慣を養うとともに、集団生活を通じ協同・自主自立の精神の芽生えを養うなど、心身の発達を助長する幼稚園の改修改築事業を実施し、学習環境の整備を図り、幼児教育の充実を図ります。
対象 (誰のために)	伊里幼稚園移転改築事業
内容	施設の改修と、新しい教育内容・方法に対応する施設の整備を行う。

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	0	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	925	受益者負担		人件費		受益者負担	
		市債				市債		
	合計	925	一般財源等	925	合計	0	一般財源等	0

必要人員	0.10	人
結果指標名	幼稚園整備事業	
結果指標量	1	
単位	925,000	
対前年比	-	
事業費	925,000	円
単位当たりコスト①	925,000	円

結果指標名	.	
結果指標量	.	
単位	.	
対前年比	-	
事業費		円
単位当たりコスト②		円

事業の成果			
成果指標名	幼稚園の整備計画実行率	式又は説明	中期財政計画の実行率(計画事業の実施割合)を目的達成の指標にします。
	17年度		
成果指標量	0%		
対前年比	-		
到達目標値	100%	到達目標年度	毎年度

事務事業の評価		
目的・対象・内容の妥当性評価	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等	課題認識
市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	少子化が進み、地域や保護者のニーズが急速に多様化している。今後、幼稚園が対応すべきニーズを慎重に検討するとともに、新しいニーズに対応する就学前教育施設や幼稚園のあり方について検討し、幼稚園の整備を図る必要がある。
市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	施設の老朽化に伴い移転改築が必要であるが、突発的な修繕がないよう点検を怠らないようにしなければならない。
手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	
職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	幼稚園施設の改善には改築がもっとも有効であるが、計画的な改善により延命化を図る必要がある。
成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	
市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

総合評価		評価区分 <A~E>
コメント	幼稚園を含む就学前教育施設に関する制度を踏まえ、地域に適した就学前教育について慎重に検討し、幼稚園整備を進める必要がある。	D

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合	
翌年度 結果指標量①	幼稚園整備	結果指標量②
目標値	100	

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
妥当性	就学前教育のあり方を検討したうえで、幼稚園移転改築事業を行う。	平成18年度以降	地域に適した就学前教育環境の整備ができる。